東京もいわ会

会報No. ９

「今思うこと」

「朋あり遠方より来る」また楽しからずや」孔子の言葉である。二年半もの長いコロナ感染症の生活を強いられ、まだ完全に平時の過ごし方がもどってきません。しかし、この期間、冒頭の引用の語句を取り上げましたのは、改めて同窓の学び舎の朋の事を思い浮かべつつ感謝の心を込めて諸先輩と先生の事をご紹介したいと思います。

やはり、関東支部（現東京もいわ会）の会でお世話になりましたのは、機械科の久保先生です。当会設立時に文京区の宿舎にご挨拶に行きました。今思うと民宿のような地味な宿屋だったと記憶しております。

次に大黒谷第二代同窓会会長です。私が北見に帰省した折、私の姉、弟と四人で食事をしたとき、大黒谷会長からは「この前まで、大病して生死を彷徨っていた」との話をなされ身体を痛めて大変なかの強い気持ちに感激しうたことを覚えています。

また、生前、東京北見会の作田英二氏からは、北工出身の人が仕事の関係者にいるのでお知らせします、と声をかけてもらったことも忘れられません。

更に忘れてならないのが、当会が長―く休眠状態だったところ同窓会運営の再開のきっかけを作っていただいた方、田限理一氏でした。役員会を日本橋のご自分の事務所をこころよく貸していただき、感謝、感謝でした。数多くの方々のご尽力によりこの会があることを忘れません。この感謝の気持ちは次回、機会があれば、お話ししたいと思います。また、先輩の大きな心といえば、私が小旅行で九州に出かけたとき、福岡の一期のO先輩宅に寄りました。（二ページへ）↓

学校の近況について

東京もいわ会、そして同窓生の皆様方には、日頃後輩たちのために、そして支援ご協力賜り感謝申し上げます。七月を目前に、令和四年度も既に三カ時期がすぎようとしていに、令和四年度もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、学校の近況を報告させていただきます。

昨年度三月一日、三年生九名が進路を決め卒業しました。九名の内訳は就職七名、進学二名になります。特に就職に関しては、同窓生の皆様方に実績を企業とのコネ求人を継続してまいります。

今後もそのお願いを流してまいります。

七名（電子機械科三名、電気科二名、建設科三名）を迎え入学式を挙行し、七二名、教職員四六名で令和四年度がスタートいたしました。

四月中旬、校内で新型コロナウイルス感染者や濃厚接触者が数多く出たため、学級閉鎖・学年閉鎖をデンウイーク前には閉鎖を解除することができ、その後の感染状況は、現在に至るまで落ち着きを見せております。

五月から六月にかけて行われた高文連の各支部大会等の高体連、連大会まで駒を進めたのは、陸上（個人）、ボクシング（個人・団体）、柔道（個人）、硬式テニス（個人・団体）、硬式テニス図書ボランティア（個人）、ボランティア（団体）、ボランティア（個人）、ボランティア（団体）、ボランティア（個人）、ボランティア（団体）、

↙緑豊かなのどかな風景のなか、ご立派なお家の玄関先で歓待して頂いた事は終生忘れません。駄文の話になりましたが、同窓の仲間のざっくばらんな温かな絆の東京もいわ会を益々盛り上げていきたいと痛感する昨今です。

令和四年六月三〇日
東京もいわ会
会長　今井正司

人生を楽しむ

一九七一年（昭和四六年）三月に北見を発ってから早五一年。半世紀がこんなに早いとは。残り人生そう多くはないことを再認識。そんな中、コロナ禍も相まって、車中泊の旅を思い立ち二〇二一年に決行。十月に北見の墓参りを兼ね層雲峡と阿寒湖で車中泊。当初キャンプ地に泊まる予定であったがあまりに自然の中なので怖くなり、観光地の駐車場での車中泊。今年の四月は弘前の桜見物と三内丸山遺跡巡りで三泊、五月は北陸観光で二泊した。就寝前に近くの温泉で疲れを癒すと夫婦共で結構熟睡してしまう。私は五十三歳で早期退社し起業。実入りは少ないが自由な時間を得ることが出来たので一人住まいの義母を連れあちこちへ出かけた。又、父が余命宣告された時は兄妹三人で代わる代わる自宅介護し一年で五回帰郷した。親を見送り、今度は自分の番となるが、迎える人生の第三ステージ（決算期）はご褒美であり旅にスポーツに楽しみたい。そうだ、土地〝の温泉再発見の旅もいいかな。

自撮は温泉再発見の旅

令和四年六月十一日
北工七期機械卒
神野義典

甲子園の残像

北見市東相内町出身の私としましては、工業高校が昭和三九年に創立され、北工生が元気よく登下校され、町内の雰囲気が一気に活気づいたのを覚えています。

特に昭和四七年夏の甲子園出場は、星稜高校（石川県）に敗戦しましたが、全国に〝北工生ここにあり〟を表明し、北見の知名度を上げてくれました。また、東京北見会主催のボウリング大会におきましても、『東京もいわ会』の皆様の強い団結力と個人のプレーに北工生魂が多いに発揮されて↙（三ページへ）

『北工に作製の思い』

新学校なれど私達はそこから巣立ち充実されて初代の面影も無くなった現校舎の全貌を観る時、歴史を感ずると共に、増え続ける同窓生に心からエールを贈るものです。北工はやがて喜多幸と称されこの先も歴史の歯車を廻して行くお事でしょう。後輩達よ、よろしくお頼みいたします。

令和四年六月
北工二期機械卒
木村　隆

ユーザーズ株式会社
IT商品及びPC周辺機器の販売、プロサウンド機器の開発、製造、販売・AVシステム及びネットワークシステム設計、施工、販売・e-learningシステム構築及び販売・高級真空管 AMP 設計製造
〒351-0012 埼玉県朝霞市栄町 1-7-14
電話 ； 048-456-5475
取締役 高橋孝男 北見工業高校 昭和40年卒業 電気科

株式会社ヨネザワ楽器
〒254-0031 神奈川県平塚市天沼9-87
電話 ； 0463-23-7097 Fax. 0463-23-7269
E-Mail ； yonezawa@yonezawa-gakki.com
yonesan62@iclould.com
代表取締役 米澤松文 北見工業高校 昭和44年卒業 機械科

『北工生健在なり、ここにあり』の姿に感動！

↙いるのを実感しております。貴会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝をご祈念申し上げます。

東京北見会幹事長
鈴木富雄

北工とメンテナンス業と私

七年前、母校北工高の進路指導部長の先生にどうやらタイミングだったかは忘れたが、私が携わっているメンテナンス業の魅力を定年で仕事から離れる前に生徒に紹介したいとの申し出にご理解いただき、会社にも了解を得させることを計画していたのが、三年目、四年目は、教材を持ち込んだメンテナンス業の実技講座も実施し、盛り上がり、この業界も理解されてきたとの感触があったが、新型コロナーウイルス（COVID-十九）のまん延で世の中は一変し、昨年は、横浜からのリモート講座で対応させて頂きました。

電子機械科長より、本年度はメンテナンス業の国家資格『機械保全技能士』検定試験を生徒に取得させることを計画していて頂きたいとの申し出を受けた。親会社であるレイズネクストの了解を頂き、担当者の随行員として新型コロナ―ウイルスが一時期収まっていた二〇二一年一二月八日に学校に資料を持ち込み、電子機械科の先生八名の方に認定協会への認定試験会場（学校）の申請方法や実施方法をレクチャーすることができた。そのタイミングで二年ぶりに兄夫婦が住む実家にも立ち寄れた。

母校でのリモート受講風景

本年度六回目となるメンテナンス業講座は、二月八日実施（リモート講座）で、入社一、二年の社員を講師としたので、話易かったのか、仕事以外の相談も多かった。小生五一年の経験値『社会人としての心得』の講義では、親や先生が教えてくれない内容紹介をし、講義アンケート調査においては好評であった。

発信側リモート講義風景

新型コロナーウイルスの影響もあり、道外に就職する人が少くなっていますが、いつか一緒に働く人が現れることを期待して、これからもこの講座を続けていきたい。

北工七期機械卒
ＳＭＳ株式会社
武田清治

母校同窓会と北見市の近況

東京都心では猛暑日が続いておりますが、関東支部(東京もいわ会)の皆様にはお変わりなくご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は、同窓会活動にご尽力賜り誠にありがとうございます。また、日頃の関東支部の諸活動に対しましても感謝を申し上げると共に敬意を表します。

さて、日本経済がコロナ禍の影響や世界経済の不安定要因など先行きが見通すことが難しいなか、本年二月二十四日には、ロシアがウクライナに侵略し資源価格の高騰などにより、取り巻く社会情勢は一層不透明になっております。侵略が長期化し、民間人にも多くの死傷者が出ており、国際社会が英知を結集し一日も早く和解、終結することが必要と考えます。

さて、当市の明るい話題としては、本年北京オリンピックが開催され女子カーリングチームのロコ・ソラーレが銀メダルを獲得いたしました。前回の平昌オリンピックの銅メダルに続く快挙でロコ・ソラーレと出身地の北見市が国内をはじめ多くの皆様にＰＲ出来たことは大変喜ばしいことでありました。一層の活躍を祈念するところであります。

また、北見市議会議員選挙が三月に施行され、私事ではございますが、六回目当選を果すことが出来ました。翌月の四月臨時市議会では議長に就任し多くの皆様に感謝と御礼を申し上げますとともに、当市の発展のため議長として邁進する覚悟でございます。

同窓会活動では、四月二十三日に総会を開催いたしました。

また、同窓会のホームページを立ち上げて諸活動の近況をアップしておりますので時間のある時に皆様に御覧頂ければと存じます。Yahoo等で北見工業高校同窓会を入力し検索していただけると同窓会のホームページが開けます。

結びに、関東支部(東京もいわ会)の益々のご発展と皆様のご健勝とご多幸を祈念しご挨拶とさせていただきます。

令和四年八月吉日
北海道北見工業高等学校
同窓会会長　飯田修司

本年も役員一同、本校校訓「自主友愛」の気概をもって、母校の更なる発展のため、そして未来に輝く後輩たちのために、おしみない支援と協力を続けていきたいと思っております。

Specialty Machinery Service
私たちは、機械整備を専業とする技術技能集団です。
代表取締役社長　山崎 博典(北見市出身)
武田 清治(7期機械科卒業)
本社
〒235-0017神奈川県横浜市磯子区新磯子町27番地5
電話:045-758-2560,FAX:045-758-2561
SMS株式会社
Specialty Machinery Service Co.,Ltd